

新電力の目線で見たと蓄電池併設型太陽光 を妄想してみた



- ・電力小売り事業の課題
- ・蓄電池併設型太陽光で対策
- ・新規市場参入での収益性

① 電源の安定調達

② 制度変更

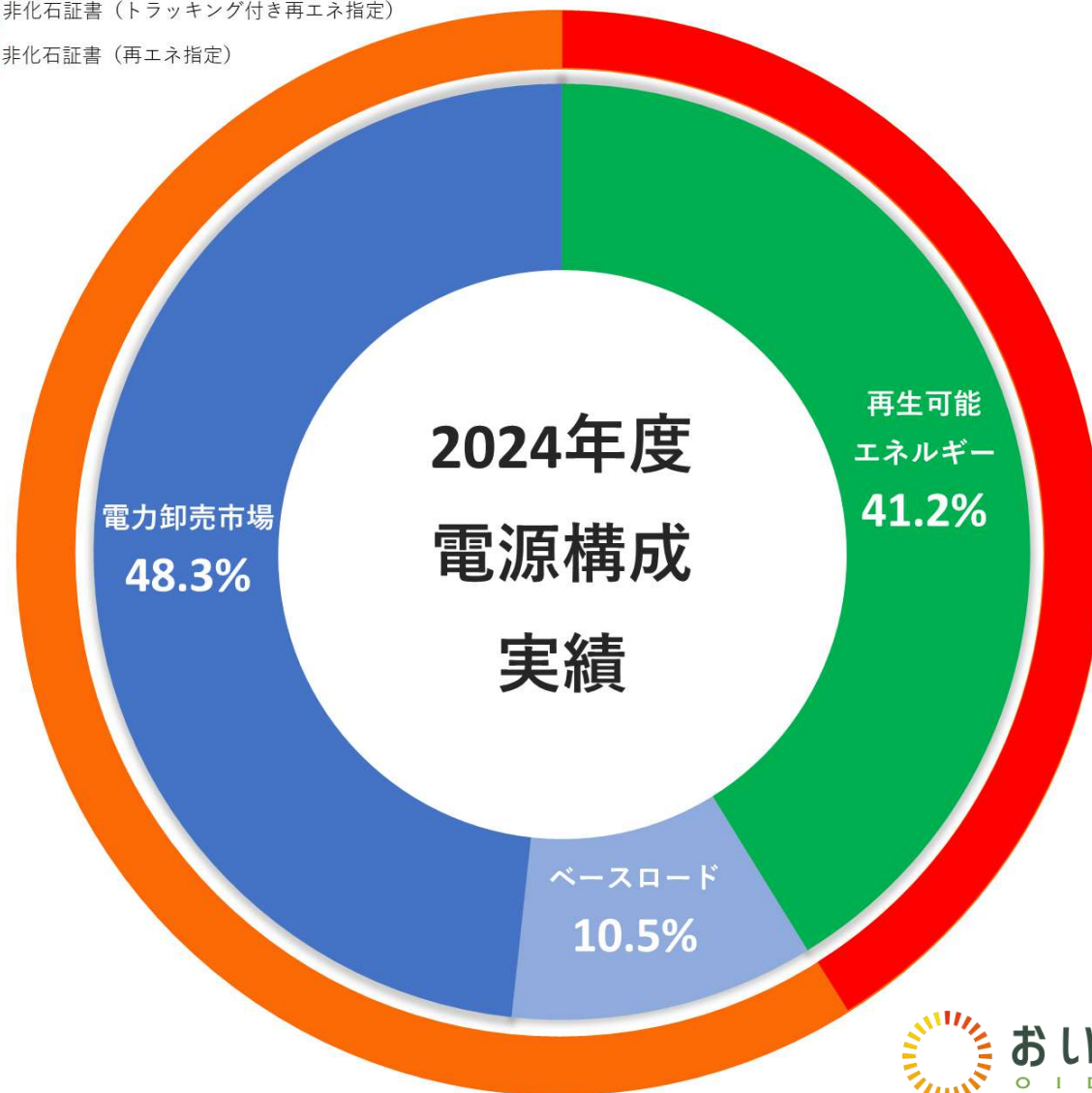
新電力の課題

- ・ 容量拠出金 . . . 支出増2028年3.5倍
- ・ 供給力確保 . . . 予見性 2030年義務化
- ・ GHGプロトコル . . . 太陽光不利 2030年？
- ・ エネルギー高度化法 . . . 環境価値44% 2030年

2024年度 電源構成

おいでんエネルギー電源構成

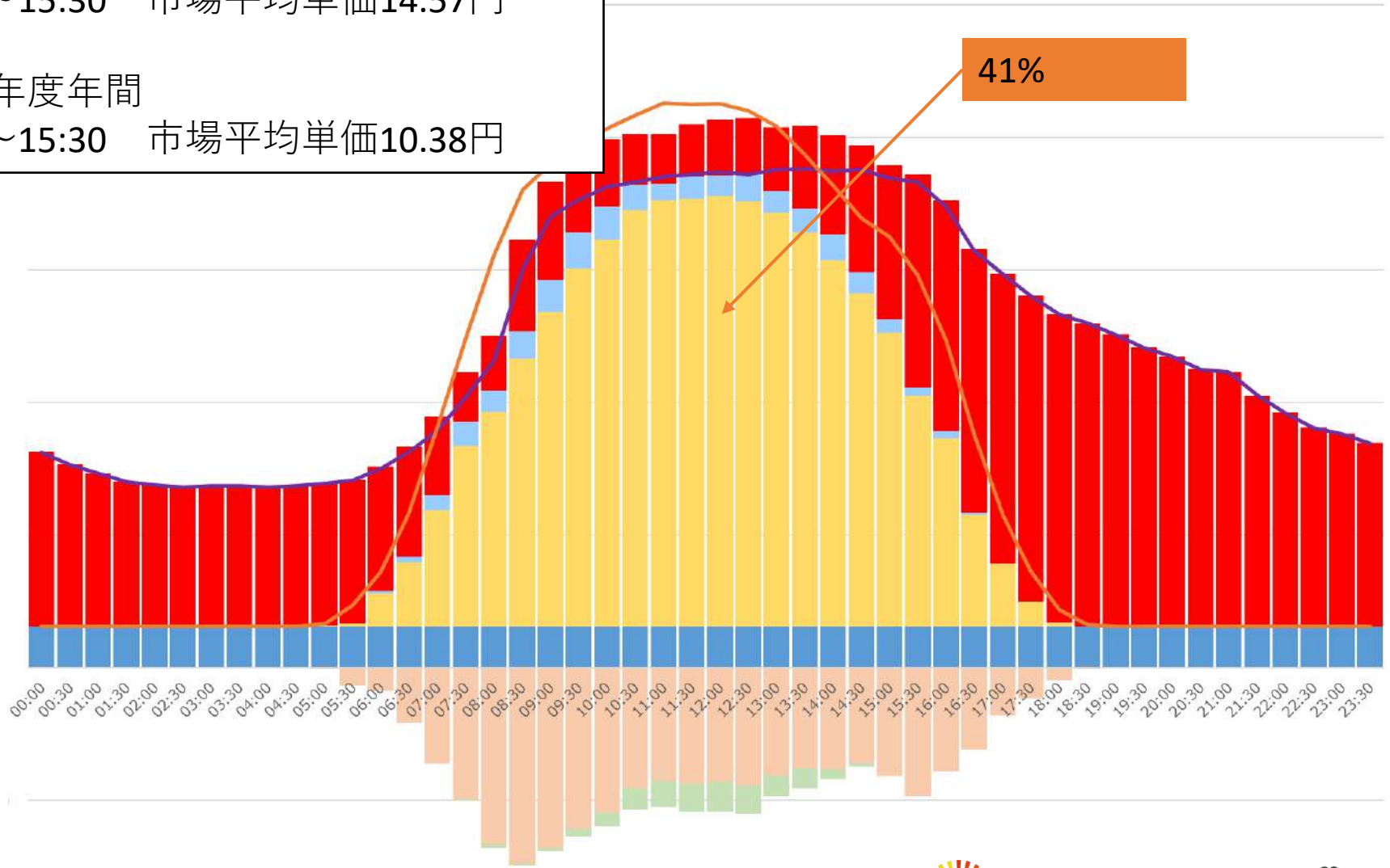
- 非化石証書（トラッキング付き再エネ指定）
- 非化石証書（再エネ指定）



2024年8月実績

2024年8月
9:00～15:30 市場平均単価14.57円

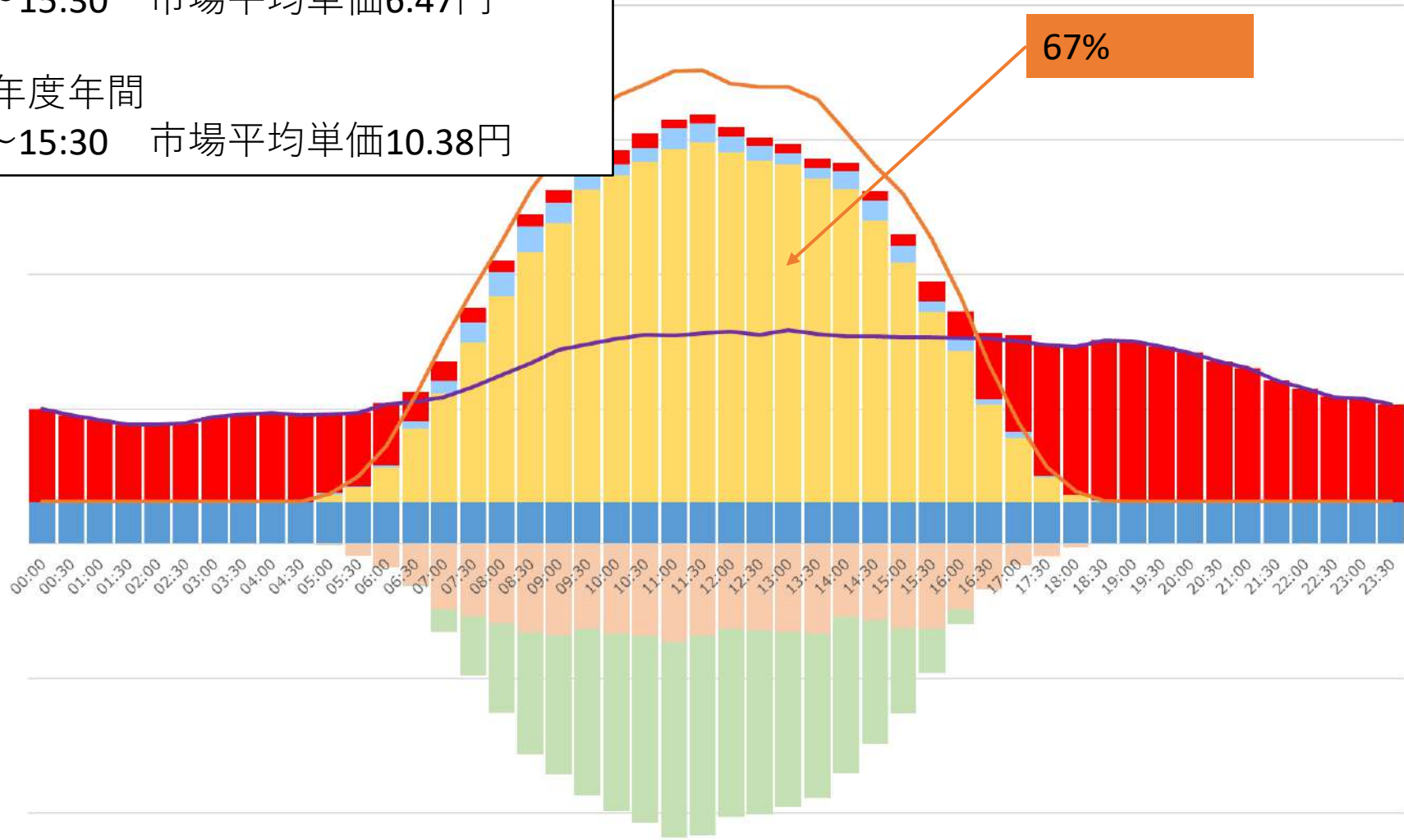
2024年度年間
9:00～15:30 市場平均単価10.38円



2024年5月実績

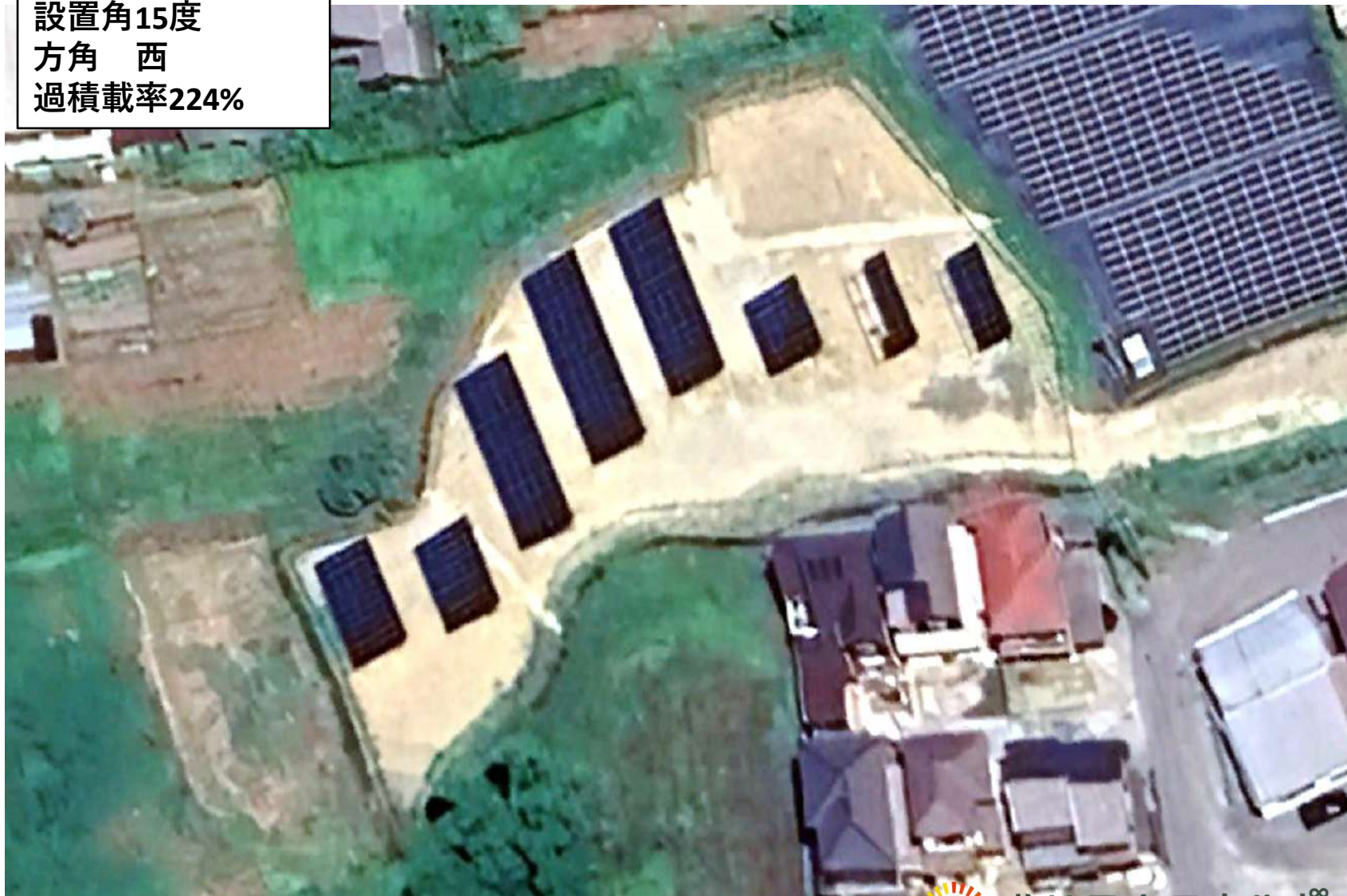
2024年5月
9:00～15:30 市場平均単価6.47円

2024年度年間
9:00～15:30 市場平均単価10.38円



低圧112kw

設置角15度
方角 西
過積載率224%



低圧138kw 太陽光パネル東西設置

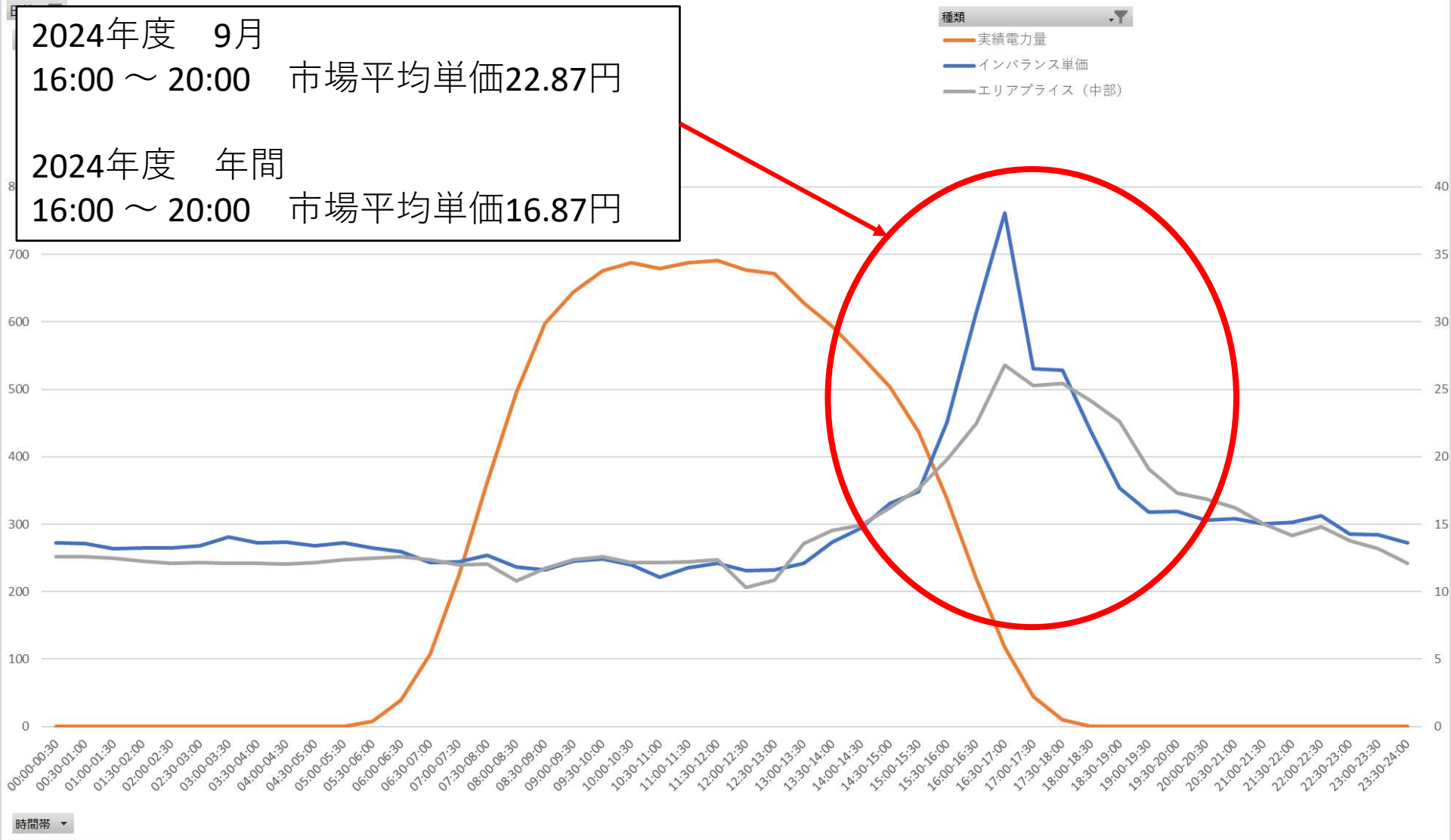
設置角15度
方角 東西
過積載率279%



2024年9月

2024年度 9月
16:00 ~ 20:00 市場平均単価22.87円

2024年度 年間
16:00 ~ 20:00 市場平均単価16.87円



やっぱり蓄電池が必要だが 経済合理性があるのか検証

FITに頼らない収益

- PPA kWh価値
- 容量市場 kW価値
- 需給調整市場 Δ kW価値
- 非化石証書 環境価値

参入要件

- **1,000kW以上**
(低圧49.5kWは、同じエリア内で1,000kW以上束ねること)
- **非FITもしくは卒FITであること**

想定収入

- **2025年度** 年 3,500円/kW程度
- **2028年度** 年12,000円/kW程度

参入要件

- 1,000kW以上

2026年から低圧群でも参入可

(低圧49.5kWは、同じエリア内で1,000kW以上束ねること)

- 非FIT、FIPも可

想定収入

- 2026年度から 1次調整 上限価格1コマ15円

仮定

- ・ 1日24コマ平均3.5円で落札

$$3.5\text{円} \times 24\text{コマ} \times 365\text{日} \times 1000\text{KW} = 30,660,000\text{円/年}$$

補助金

- ・ 再生可能エネルギー導入拡大・系統用蓄電池等電力貯蔵システム導入支援事業費補助金
など

ありがとうございました。